

漁海況月報

令和2年5月1日

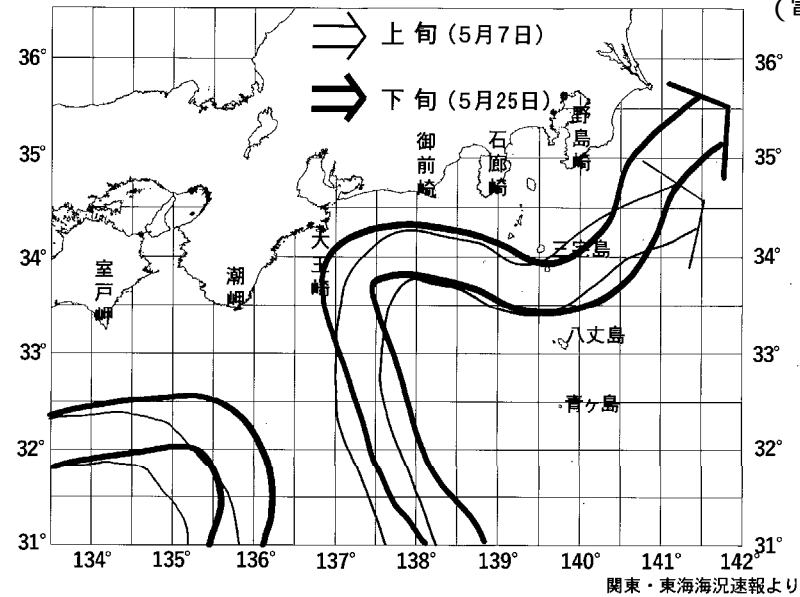
No.5 ~5月31日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



5月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)
関東・東海海況速報より

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	17.5	17.3	17.3	18.2	18.6	18.5
	0.5	0.7	0.4	0.4	0.4	1.0
中旬	18.2	17.7	17.8	18.8	19.7	19.3
	0.3	0.3	0.1	0.2	0.8	1.0
下旬	19.4	19.5	19.1	19.9	20.3	19.8
	0.5	1.3	0.7	0.4	0.7	0.5
月	18.4	18.2	18.2	19.0	19.5	19.4
	0.4	0.8	0.5	0.3	0.6	1.0

*地頭方の水温観測は終了しました。

[黒潮流路]

5月を通じてA型で、潮岬を大きく離岸し、29.5°N付近まで南下した後に遠州灘沖まで北上し、三宅島付近を通過して北東へ流去した。

上旬は遠州灘沖の北上部が大王崎に接近するなど、熊野灘～遠州灘を接近する流路となり大王崎沖や遠州灘沖に暖水波及が見られた。

中旬になると熊野灘～遠州灘を上旬より離岸する流路となり、熊野灘沖のみ引き続き暖水波及が見られた。

下旬には再び熊野灘～遠州灘沖に接近する流路となり、同海域や駿河湾内に暖水波及が見られた。また、石廊崎沖から大島西水道に向けても暖水波及が見られた。

[県下沿岸域]

上旬は下田、雲見、沼津が「平年並」、伊東、稲取、焼津が「やや高め」であった。中旬は伊東、稲取、下田、雲見が「平年並」、沼津、焼津が「やや高め」であった。下旬は雲見が「平年並」、伊東、稲取、下田、沼津、焼津が「やや高め」であった。

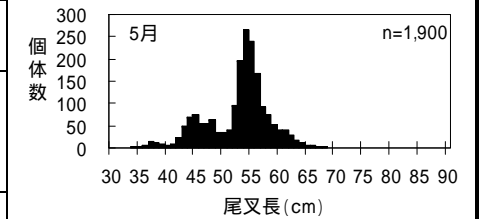
[竿釣りカツオ]

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは179.2トンで前年同月(214.5トン)の84%であった。魚価は613円/kgで前年同月(346円/kg)を上回った。

漁場は33.5-34°N、138.5-139°Eの伊豆諸島周辺海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、中(尾叉長54cm)を主体に、大(尾叉長58cm)、小(尾叉長45cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚げ量(県内主要5港)

期間	水揚げ量(ト)	水揚げ隻数	平均水揚げ量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
R2年5月上旬	68.6	30	2.3	615
中旬	34.1	18	1.9	682
下旬	76.5	29	2.6	581
R2年5月計	179.2	77	2.3	613
R元年5月計	214.5	68	3.2	346
H30年5月計	175.7	43	4.1	371



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

[定置網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は232.7トンで前年の同漁場の水揚げ量(332.2トン)の70%であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、33.2トンで前年(47.5トン)の70%、平年の47%であった。水揚げ量の多い漁場は、北川漁場(68.6トン、さば類、スルメイカ、シイラ)次いで赤沢漁場(39.2トン、さば類)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)の通りで、さば類は160.5トンで前年比94%、平年比1.2倍であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは25.2トン、前年比26%、平年比82%、ゴマサバは135.3トン、前年比1.8倍、平年比1.2倍であった。また、さばっこ銘柄(マサバ、ゴマサバ当歳魚)は13.3トン、前年比2.4倍、平年比1.4倍と前年、平年を上回った。スルメイカは20.2トンで、前年比1.3倍、平年比1.5倍であった。イサキは6.8トンで、前年比1.3倍、平年比1.3倍であった。シイラは5.0トンで、前年比22%、平年比97%であった。マアジは3.5トンで、前年比28%、平年比2%であった。また、じんだ銘柄(マアジ小型当歳魚)が前年比5.0倍、平年比61%(水揚げ0.5トン)で前年を上回った。その他の魚種については、ハガツオが1.4トン、前年比3.4倍、平年比8.1倍で、5月の水揚げ量としては平成7年に次いで多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では北川漁場が33%(53.2トン)、赤沢漁場が17%(26.5トン)、川奈漁場が15%(24.3トン)、スルメイカでは北川漁場が45%(9.1トン)、富戸漁場が22%(4.4トン)、イサキでは谷津漁場が83%(5.6トン)、シイラでは北川漁場が58%(2.9トン)、川奈漁場が15%(0.8トン)、マアジでは富戸漁場が34%(1.2トン)、川奈漁場が23%(0.8トン)を占めた。

*平年：昭和57年～令和元年の平均値

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	160.5	0.94	1.20	北川、赤沢、川奈
スルメイカ	20.2	1.26	1.47	北川、富戸
イサキ	6.8	1.28	1.28	谷津
シイラ	5.0	0.22	0.97	北川、川奈
マアジ	3.5	0.28	0.02	富戸、川奈

[サバたもすくい]

小川港所属の棒受網漁船はたもすくいで操業した。漁場は、上旬は三宅、三本、ひょうたん瀬、中旬は三宅、下旬は三宅、三本、ひょうたん瀬に形成された。水揚量はマサバ58トン(前年同月10%)、ゴマサバ339トン(前年同月比1.2倍)であり、1隻あたり水揚量はマサバ2.1トン(前年同月11.4トン)、ゴマサバ12.1トン(前年同月5.7トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ98円で前月(88円)前年同月(81円)を上回った。ゴマサバは112円で前月(116円)を下回り、前年同月(85円)を上回った。

漁獲されたマサバの体長組成は32cmにモードを持つ単峰型、ゴマサバの体長組成は33cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R2年5月上旬	56	125	4	12	4.7	4.1	95	108	三宅、三本、ひょうたん瀬
中旬	0	92	2	5	0	2.6	141	107	三宅
下旬	2	122	4	11	0.2	7.6	169	120	三宅、三本、ひょうたん瀬
R2年5月計	58	339	10	28	2.1	12.1	98	112	
R元年5月計	561	280	15	49	11.4	5.7	81	85	大室出し、利島、銭洲
H30年5月計	2	489	9	28	0.1	17.5	99	98	三宅、大室出し、銭洲

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

5月の出漁日数は11日、水揚量は22.7トンであった(前年同月の出漁日数は10日、水揚量は66.5トン)。主漁場は沼津沖、三保沖、用宗沖~焼津沖、相良沖であった。水揚げされたサクラエビの体長組成をみると32mm、36mm、40mm付近にモードを持つ3峰型を示した。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	漁 場
R2年5月上旬	1.9	2	沼津沖、焼津沖
5月中旬	9.8	5	沼津沖、三保沖、用宗沖~焼津沖、相良沖
5月下旬	11.0	4	沼津沖、三保沖、用宗沖~焼津沖、相良沖
R2年5月計	22.7	11	-
R元年5月計	66.5	10	焼津沖~相良沖
H30年5月計	164.8	10	由比~興津沖
H29年5月計	625.9	15	富士川沖~由比沖、興津沖

*水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が223kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が390kgであった。平均水揚量は328kgと前年同月(629kg)の52.2%、前年同月(過去5か年平均:787kg)の41.7%であった。また、総水揚量は707.3トンで前年同月(1,490.2トン)の47.5%、前年同月(1,844.6トン)の38.3%と、前年、前年同月を下回った。平均単価は785円/kgと、前年同月(775円/kg)の1.0倍、前年同月(567円/kg)の1.4倍と、前年同月並となり、前年同月を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	79.9	15	201	398	688
舞 阪	232.1	15	595	390	848
福 田	163.8	16	432	379	655
御前崎	54.0	12	131	412	726
吉 田	126.3	16	447	282	827
静 岡	51.3	18	350	147	1,030
R2年5月計	707.3	92	2,156	328	785
R元年5月計	1,490.2	109	2,371	629	775
H30年5月計	1,280.4	93	2,004	639	865

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期:過去5か年(平成27~令和元年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、静浦港では0.01トン(前年同月水揚げ無し、前年同月比19.7%)、沼津港では425.5トン(前年同月比36.0倍、前年同月比3.0倍)、小川港では358.9トン(前年同月比3.7倍、前年同月比4.4倍)、伊東港では水揚げが無かった。カタクチイワシは、沼津港では58.8トン(前年同月水揚げ無し、前年同月比2.0倍)、小川港では11.0トン(前年同月水揚げ無し、前年同月比1.1倍)、静浦港、伊東港では水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.5トン、カタクチイワシは0.9トンであった。

*平年:過去5か年(平成27~令和元年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

5月7日	5月8日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
5月11日	5月13日	地先定線観測調査	(3日間)
5月14日	5月15日	サバ標識放流調査(大室出し)	(2日間)
5月20日		サクラエビ音響調査	(1日間)
5月20日	5月22日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(3日間)
5月25日		公共用水域水質測定調査	(1日間)
5月26日	5月27日	サクラエビ調査(卵数法)	(2日間)
5月28日	5月29日	サクラエビ調査(卵幼生)	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

